

令和5年度第1回三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会議事録

1 開催日時 令和5年9月5日 14:00~16:10

2 開催場所 三重県合同ビル 2階 G201 会議室

3 出席者数 出席12名 欠席3名

4 内容〈事項〉

(1) 会長・副会長の選出について

(2) 「第4次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2019-2022)」の実績及び「第5次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2023-2026)」の取組について

(3) 三重おもいやり駐車場利用証制度について

(4) 「わかりやすい情報提供のためのガイドライン」改定について

(5) その他

5 概要

(1) 会長・副会長の選出について

委員間での立候補・推薦等がなかったため、事務局から笠原委員を会長に、松井委員を副会長に推薦。委員からの異議なし。

(2) 「第4次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2019-2022)」の実績及び「第5次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画(2023-2026)」の取組について

【委員意見】

・「だれもが利用しやすい製品・情報・サービスの提供の促進」の総括目標に対する分析のお話がありましたが、UDに関心がある県民の割合やハード整備が進んできたと感じる県民の割合についても、2021年度と比較すると2022年度は実績値が下がっています。これはどのような理由になりますか。

⇒関心があるというのは、自分事として捉えているかということになりますが、50%前後で推移しており、とどまっている状態であると理解しています。ハード整備は目に見えるもので、わずかに下がってはいますが70%を超えており、情報・サービス提供や意識づくりと比較すると高くなっています。

・50%にとどまっている状態を今後どのように超えていくのかが重要であると思います。

- ・総括目標の指標にある「県民の割合」について、県民はどのように抽出していますか。
- ・毎年同じ人が選ばれるのでしょうか。

⇒三重県で実施していた「e モニター制度」を利用しています。県内の人口分布や年齢分布を反映したものです。回答者は徐々に入れ替わっていきます。

- ・回答について、年代や性別での傾向はありますか。

⇒回答者の性別は不明です。総回答者数は 950 人程度であるため、地域別での傾向を把握しようとする、母数としてはごく少数人となってしまいます。

- ・三重県の人口が 180 万人であることを考えると、900 人程度では少ないと思います。また、e モニター制度に代わる新たな制度では、外国につながる方も回答できるように考えていただきたいと思います。外国につながる方の意見がなかなか反映されません。
- ⇒新しいモニター制度では民間会社のシステムを利用しています。また、これまでのように成果指標を図るものとしては担保できないものとなっています。

- ・第5次計画では総括目標がありませんが、これからはどのように課題を検討していくのでしょうか。

⇒個別目標の設定をきめ細やかにし、全体の状況を見ながら課題を検討していきます。

- ・新しいモニター制度についてですが、今後、民間に委託する段階で県の人口分布を反映するように分類等できれば、個別目標とは違った視点で、県民全体の意見を聴くことができると考えます。

- ・ユニバーサルデザイン(UD)タクシーについてですが、その導入について、大手の会社であっても消極的であるように聞いています。コロナ禍もあり、経営上の困難も抱えている中、計画に掲げている目標値の達成は困難ではないでしょうか。

⇒UDタクシーの導入率 29%は国の目標を踏まえ設定したものです。東京などの都市部ほどUDタクシーは普及しており、三重県としてもタクシー事業者への補助金を昨年度より開始しています。UDタクシードライバーの研修も併せ進めているところです。令和 4 年度は 15 台の補助を行っていますが、半導体不足により、現時点では実際には8台程度しか導入できていません。

昨今のコロナ禍、燃料費の高騰等の要因もあり事業者も様子見になっていますが、情勢を見ながら導入を進めていきたいと考えています。

- ・UDタクシーの補助割合はどの程度ですか。

⇒補助の割合は、1 台あたり国が 60 万円、県は 30 万円です。従来の車両との差額を補填する形で導入を促しています。

・現在の導入率の実績値はどれくらいですか。

⇒令和4年3月末で8%弱となっています。

・県の補助額を今より上げることはできませんか。車の価格自体が上がっています。

⇒現在の補助額で、従来の車両との差額分は補填できていると考えていますので、当面は様子を見たいと考えています。物価は高騰していますが、UDタクシーについては高騰しておらず、元々一般車両より高くなっています。

・UDアドバイザーの人材育成が計画にありますが、県は具体的に何をしていますか。

・以前のように県は養成講座を開催しないのでしょうか。

⇒今年度はUDアドバイザーの養成講座を2団体が開催する予定です。県からは講座の講師派遣を行っています。また、受講完了者は、県がUDアドバイザーとして認定しています。

現時点では県での養成講座の実施は考えていません。

・第4次計画の取組にある、県・市町及びUD団体等が実施するUDのまちづくりの研修の実施回数についてですが、市町の新規採用職員への研修も実績にカウントされていますか。

⇒カウントしています。県としても講師として伺う機会をいただいています。

・第5次計画について、学校出前授業の目標値が、第4次計画の実績値からすると低いのではないのでしょうか。

⇒計画策定時は68校の実績値を踏まえて設定したことから、そのようになっています。目標値にとらわれず、上を目指して学校出前授業を実施していきたいと思います。

・第5次計画で障がい者の雇用の取組が上がっていますが、法定雇用率を満たすために、企業の業務とは関係のない農作業などに従事する例があると聞きます。これは障がい者を雇用しているといえるのか疑問ですが、県としてはどのように考えていますか。

⇒本日、お答えすることのできる者がおりませんので、ご意見はお伝えさせていただきます。

(3) 三重おもいやり駐車場について

【委員意見】

・マークを変更する時期はいつを予定していますか。

⇒物品の準備状況にもよりますが、年度内を考えています。

・ベビーカーの入った妊産婦マークは全国的に使われているのでしょうか。

⇒数県の自治体で利用されています。

・駐車場の路面シートの張替えについてはどうですか。

⇒予算の関係もあり、路面シートの提供は難しいと思いますが、ステッカー等をご要望に応じてお渡ししておりますので、こちらは随時、変更したものを配布していく予定です。

・路面シートは事業者の負担で行っていくものだと思いますが、予算がかかりますので、導入にあたっては何かしらの補助を考えていただくことで普及が進むのではないのでしょうか。

・現在の啓発チラシは間接的でわかりにくい表現があり、広い車椅子スペースと狭いスペースの説明が分かりづらいので、チラシについても考えてほしいと思います。

⇒チラシの内容については毎回、苦心しているところです。より良いものになるよう考えていきたいと思っています。

・変更については皆さんの賛成をいただいていると思います。広い区画が適切に使われるような啓発を今後も進めていただければと思います。

(4)「わかりやすい情報提供のためのガイドライン」改定について

【委員意見】

・やさしい日本語などについて、良い事例と悪い事例を参考として掲載してもらえると分かりやすくなると思います。

⇒修正します。

・自身に色覚特性があることを気付かないままの方もいます。このガイドラインはどこで、だれ向けに配布しますか。

⇒このガイドラインは三重県職員向けではありますが、ホームページに掲載しておりダウンロードはしていただけます。改定版もその予定です。

・外国の方に対して、例えば「採血」を「血、採ります」に言い換えるなど、いかにやさしい言葉で説明するかを学生がトレーニングすることがあります。病院などにも幅広く周知していただければいいと思います。

⇒やさしい日本語の支援ツールとして、防災や医療向けのものもあるようですので、配布先なども考慮しながら、掲載を検討していきたいと思っています。

・やさしい日本語の視点はとてもいいと思います。このガイドラインは職場でとても参考になったと意見がありました。県職員だけでなく他でも手に取ってもらえるようにして

ほしいと思います。また、やさしい日本語の作り方はやってみるとわからないもので、何回か研修を受けるとコツが掴めるようになります。

・このガイドラインを学生に周知したいと思います。表の作り方ですが、縦線がない方がいいのでしょうか。

⇒参考資料では縦線は使わないよう推奨されていましたが、表によってはあった方が見やすいこともあると思います。あるなら、真っ黒な線ではない方が良いように思いますが、弱視の方は認識しにくくなります。

・表の縦線は、トレンドもあるのか、論文などを見ても、ほぼ無いようです。その方が各国の方が見やすいのかもしれませんが。

・学校の職員も対象でしょうか。

⇒はい

・Word の設定について紹介されていますが、バージョンによっては、設定が異なるかもしれません。

⇒本ガイドラインはマイクロソフト 365 で作成しています。Word のバージョンについては追記するようにします。

・とても素晴らしいので、方法を工夫しながらもっと広く周知していただきたいと思います。

(5) その他

【委員意見】

・外国人技能実習生など外国人材が、今までになかったくらいに増えているのを実感しています。彼らに社会は支えられており、日本人の意識が変わらないと大変なことになると思います。

→本日は貴重なご意見をいただきありがとうございました。

(以 上)